

# 令和4年度 大館市立城南小学校 学校評価書（前期・年度）

## A 学校教育目標

ふるさとに学び、どの子どもも喜んで活動する学校

## B 目指す学校像

- 1 児童一人一人が自分の幸せを支える力を高める学校
- 2 保護者が安心して我が子を送り出せる学校
- 3 職員がチームで改善に取り組める学校
- 4 地域に笑顔で協力してもらえる学校

## C 学校経営の特徴

- 1 主体的に学び合い、皆が力を確かに高める授業づくり
- 2 一人一人に寄り添い、組織的に個々を伸ばす指導の工夫
- 3 楽しくやりがいのある活動の工夫



### 学習発表会

コロナ禍の中での学習発表会でしたが、感染対策を行いながら実施しました。入れ替え制ではありましたが、たくさんのおうちの方々に見ていただきました。

### ICTを活用した授業公開

1年生でもロイノートを使って自分の意見を送信し、学び合いが深まりました。市内のたくさんの先生方に見ていただきました。



### あいさつ運動

どこでも・いつでも・だれにでもあいさつできる子どもを目指して取り組みました。あいさつマスターに選ばれた子どもは、登校してきた子どもに元気よくあいさつをして、みんなであいさつをがんばろうという雰囲気を作ってくれました。

D 評価

**ア**  
児童の  
状況

自己評価Aと外部評価Bの評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

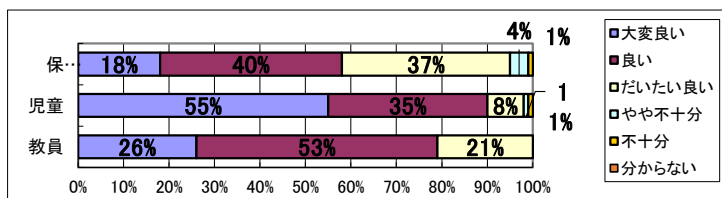
I 自主的・自律的な生活

児童の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら、主体性や責任感をはぐくむとしている。	前期	おおむね良好	良好 あいさつマスターの取組を通して、子ども達は「自分から進んであいさつしている」に対して55%が大変良いと評価している。また、新「城南っ子生活の約束」を基にして「きまりを守って落ち着いた学校生活を送っている」に対して51%が大変良いと評価している。さらに、児童のほとんどが「学校は楽しいと、話している」以上3点を評価して良好とした。後期は校外でのあいさつの改善と集団生活の中での一人一人の活躍に期待したい。
	年度	良好	
と自己評価Bの改善概要	【前期(一年度)】新しく見直した「城南っ子生活の約束」と学校生活全般の状況や改善策を載せた生徒指導通信を基に、だれもが安心・安全な生活ができるよう、学年集会等を活用して指導している。挨拶に関しては、あいさつマスターの取組により、習慣が少しずつ身に付いてきているが、児童と大人の意識の差もあり、特に校外での挨拶は弱いと感じている。相手も自分も気持ちよく生活できるように、挨拶することのよさを実感させながら後期も取組んでいきたい。規律ある落ち着いた生活については、機を逃さずに学校生活のルールを確認する場を設けることで、子ども達の意識を高めることができた。様々な集団生活の中で、一人一人が活躍できるよう、職員間で情報を共有しながら、学年・学級の実態に合わせて、更に徹底を図っていききたい。		
	【年度(一年度)】挨拶については、委員会によるこんにちは運動に加え、あいさつマスターの選出により意欲の向上が見られた。規律ある生活については、全校集会での月目標や取組の確認により、全校で足並みをそろえた指導ができた。全校の約束や子どもの活動が見えるように、校内外に向けて生徒指導通信を定期的に発信し、情報共有を図った。また、各種活動を通して、「学校が楽しい」と話している割合が増えたことがよかった。一方で、今年度は新しい取組(あいさつ・城南っ子の約束)を教師から提示することが多かったため、次年度は、委員会を中心に全校を巻き込んで児童の主体的な活動の場となるような手立てを講じていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1)校内外での元気な挨拶	挨拶運動(児童、保護者、職員)、「めざせ！あいさつマスターへのみち」「あいさつリーダー運動」の実施、学級活動や集会など学校生活全般を通じた指導	3	4
	(2)規律ある落ち着いた生活	社会規範やルール遵守の指導(城南っ子の約束、生徒指導だより)		
2 集団生活・集団活動	(3)集団の一員としての自覚ある言動	学級活動の充実、当番活動、係活動、各種行事、委員会活動の推進、学年集会の実施、ふれあい集会、城南オリピック	3	3

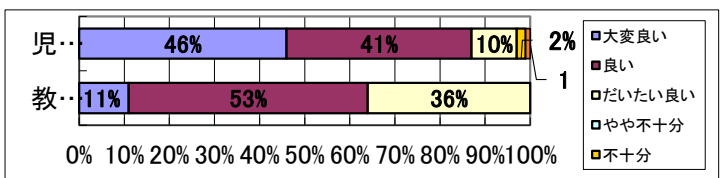
[1]に関するデータ

○自分から進んで、地域や学校であいさつしているか。(平均値 保護者3.64 児童4.43 教員4.05)



- ◇保護者の挨拶運動・登校指導  
5月～10月(PTA)
- ◇あいさつマスターの奨励  
5月、7・8月、11月(自己評価→あいさつマスターシール)
- ◇教員の挨拶運動  
4月～3月(学校安全日)
- ◇委員会の挨拶運動(通年)  
11月(こんにちは運動) 7・8月(小中連携挨拶運動)

○きまりを守って落ち着いた学校生活を送っているか。(平均値 児童4.28 教員3.74)



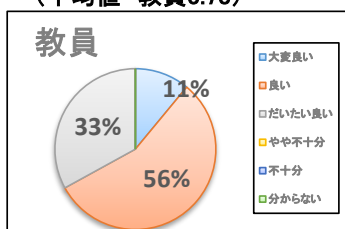
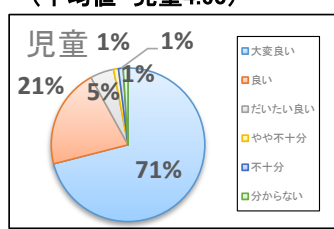
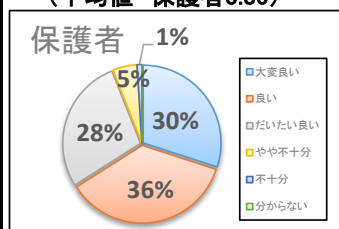
- ◇新「城南っ子生活の約束」の配付
- ◇学年集会の開催  
各学年で統一した指導
- ◇生徒指導通信「城南っ子」の配付
- ◇委員会による呼びかけ

[2]に関するデータ

○子どもは、学校が楽しいと話しているか。(平均値 保護者3.85)

○学級のみなのために、係や当番、委員会の仕事をがんばっているか。(平均値 児童4.60)

○集団の一員としての自覚ある行動をしているか。(平均値 教員3.78)



- ◇ふれあい集会の開催  
各学年とも趣向を凝らしながら、全員が心を合わせて発表することを旨とし、児童の主体的な活動の場となった。

- 6月(給食委員会)・・・SDGsについて
- 7月(城南スポーツ委員会)・・・外遊びイベントについて
- 9月(保健委員会)・・・体の健康やメディアコントロールについて
- 10月(環境委員会)・・・学年対抗リサイクル運動について
- 11月(さわやか生活委員会)・・・あいさつマスターについて

# ア 児童の状況

## II 思いやりの心・たくましい心

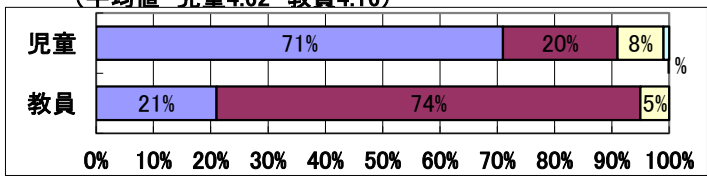
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
自分のよさや他人のよさを認め合い、切磋琢磨した学校生活を送り、豊かな人間性をはぐくもうとしている。	前期	おおむね良好	自己有用感を育むための様々な工夫により思いやりの心が育ち、それが友達と仲良く生活していることにつながっている。道徳の授業については、子供たちが満足していることが伺える。学校全体での生徒指導が充実しているように思われる。更に工夫した取組で一人一人を育ててほしい。
	年度	良好	
校の自己改善評価の概要と学	【前期(→年度)】自己有用感を育むため、各種集会や縦割り班活動で異学年との交流の機会をもつようにした。上級生は下級生を思いやりたり手本になって行動しようしたりする姿、下級生は感謝や憧れの気持ちをもって活動する姿がそれぞれに見られた。しかし、「キラッとさん」の活動そのもののマンネリ化も見られるため、学級から学校・家庭へと周知の場を広げ、一人一人がよさを発揮したりお互いのよさに気付いたりできるように活動を工夫していきたい。児童理解については、ホウレンソウカードの活用や職員同士の情報交換や事例を挙げての研修等、様々な場面でやってきた。児童の困り感に寄り添い、チームで対応できるように、継続して指導にあたりたい。		
	【年度(→次年度)】自己有用感を育むため、各学年の廊下に「キラッとさんロード」を設置したり、生徒指導通信を活用して家庭に紹介したり、校内でも家庭内でも一人一人のよさを認め合う場を設定することで高い値を保っている。一方で、いじめ・不登校や人間関係作りで困り感をもつ子どももいるため、道徳の授業の更なる充実や職員同士の情報交換を大切に、継続して指導にあたりたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 自他の理解	(4)自己有用感の育成	人間関係づくり(学級活動など)、縦割り班活動、集会活動、なかよしアップタイム、一人一人のよさを認め合う場の設定(キラッとさん活動の充実)	3	3
	(5)道徳性、道徳的な判断力等の育成	道徳科の授業の充実、各教科等との関連的指導の充実		
4 児童理解	(6)学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応	職員会議での情報交換、教育相談、校内特別支援委員会、アンケートや調査の実施、「ホウレンソウカード」による校内生徒指導体制の強化、チームによる課題対応	4	4

### [3]に関するデータ

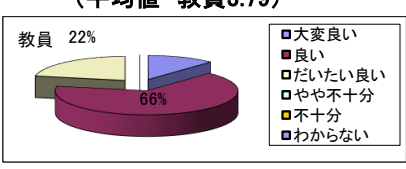
○友達と仲良く生活しているか。

(平均値 児童4.62 教員4.16)



○道徳の時間の充実

(平均値 教員3.79)



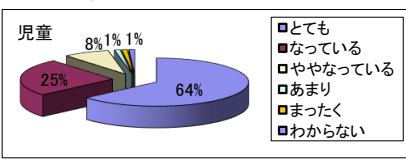
◇キラッとさん(掃りの会での発表紹介、学校・お家キラッとさんの活動)

⇒月1回、キラッとさんdayを設定し、「キラッとさんロード」に掲示する。

◇なかよしアップタイム(縦割り班による活動)の実施(学期に1回)

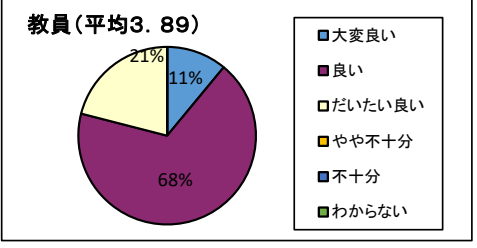
◇ふれあい集会、縦割り清掃、城南スポーツタイムでの交流や関わり

○道徳の授業は自分にプラスになっているか。(児童4.47)

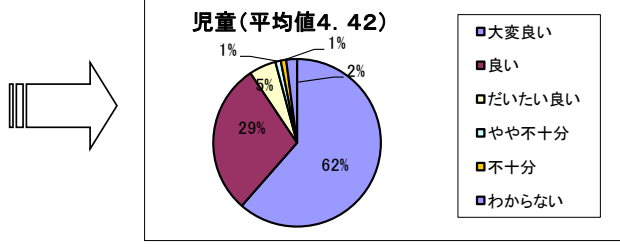


### [4]に関するデータ

○学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応



○あなたは友だちの良いところや頑張ったことを見つけてあげているか。



- ◇教育相談…6月、11月、2月
- ◇いじめ調査アンケート・教育相談…7月・11月
- ◇ホウ・レン・ソウカードと生徒指導カードの作成
- ◇職員会議での情報交換
- ◇特別支援教育委員会の開催
- ◇いじめ・不登校対策委員会の開催と機を逃さない対応

・危機管理のための時期を失わないすばやい「報告」	
・共通理解、相談を促すための積極的対応のための「連絡」	
・抱え込みをせず、適切な対応を行うための「相談」	
事例発生日時	令和 年 月 日 ( )
記入者氏名	
内容	いじめ 不登校 遅刻 早退 けが ( )
経緯	原因 子どもの相談 保護者からの相談
その他	( )
保護者への連絡	有 無
備考	(ここで、だれか、どのように)



ホウレンソウカードの活用  
状況把握・共通理解に努める

各学年の廊下に「キラッとさんロード」を設置！  
⇒キラッとさんの見える化

# ア 児童の状況

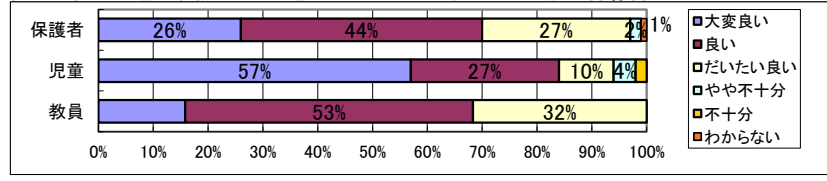
## Ⅲ 健康と体力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通して、健康や体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	チーム丸となって運動の機会の確保に努めコロナに負けない体力づくりに取り組んでいる。昨今コロナの影響による子ども達の心身の低下が懸念されているが、支援を要する子についても連携して早期介入に努めている。今後も家庭との連携を図り良好な関係づくりに取り組んでいきたい。
	年度	良好	
校自己改善施策の概要と学	【前期(一年度)】前年度の反省として、運動する機会の保障が課題となっていたため、各指導部と連携して城南スポーツタイムの実施時間を確保するようにした。また、内容としては、毎年課題となっている走力と握力の向上をねらった活動を行ったところ、時間いっぱい体を動かす姿や友達と一緒に楽しみながら何度も取り組む姿を見ることができた。近年コロナの影響もあって、走力、持久力の低下が見られるため、後期も、継続して走力の向上を中心に運動させていきたい。健康や生活習慣の指導については、家庭との連携が大切なため、保健便りを通して伝え、同じ方向で子ども達に指導できるようにする。食育については、SDGsの観点から、残食調査は効果的だった。さらに、栄養バランスについては、2学期以降に控えている家庭科や保健の学習を通して指導していくようにしたい。その際に栄養職員とも連携をとるように計画していきたい。		
	【年度(一次年度)】コロナの影響により体力の低下が顕著に表れてきており、運動の機会の保障と感染対策の両立を目指して城南スポーツタイムを実施した。例年天候等の影響で後期に数値は下がるが、外遊びイベントやチャレンジカードを用いてなわとびチャレンジに取り組ませることなどで数値の減少が緩やかであった。児童と保護者で数値に差があったため、学年のお便り等を通して活動の様子を伝えるなど工夫していきたい。栄養バランス指導と残食調査はわらいを明確にし、指導に生かしていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 保健衛生・食育	(7)健康的な生活習慣の向上	メディアコントロール週間、健康チェック、保健だよりの工夫、委員会活動、家庭との連携、ガラガラあわわタイム、養護教諭の保健指導	3	4
	(8)望ましい食習慣の形成	食育および給食指導、委員会活動、残量調査、栄養バランスチェック、わんだふる給食PR		
6 体力づくり	(9)継続的な体力づくりの実践	実態把握に基づくパワーアップ運動と教科体育の充実、城南スポーツタイム①～③、外遊びの奨励	4	4

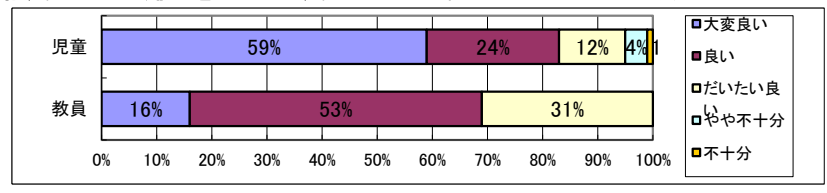
### 【5に関するデータ】

○早ね・早おきをし、朝ごはんをたべているか。(平均値 保護者3.91 児童4.32 教員3.84)



外遊びイベントを計画し、体を動かす機会づくり

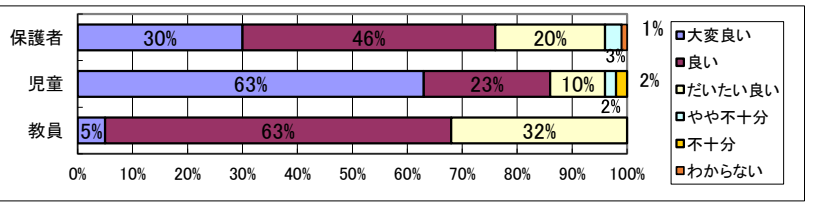
○給食では好き嫌いをしないで食べているか。(平均値 児童4.35 教員3.84)



中休みになわとびチャレンジ実施

### 【6に関するデータ】

○自ら進んで体を動かし、よく運動をしているか。(平均値 保護者3.96 児童4.40 教員3.74)



中休みになわとびチャレンジ実施

◇城南スポーツタイム 実施内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年ごと実施→学年ごと実施</li> <li>・Jタイムの15分→中休みの20分</li> </ul>	
<b>《9月実施》</b> ①運動選択、チェック週間 ②外遊びイベント(全6回) ③徒歩通学チャレンジデー →コロナ禍により、変更	<b>《12月実施》</b> ・チャレンジカードを使って実施 (秋田県→日本→世界(地域ごと))
○感染拡大等により一部内容の変更があり、予定通り実施できないところもあった。 ○実施回数の保障を目指して計画を立てることはできた。今後は内容の向上を目指していきたい。	



学年ごとに回数を設定し、意欲的に活動に参加できるようにした。

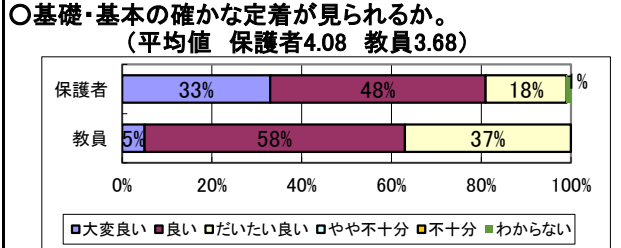
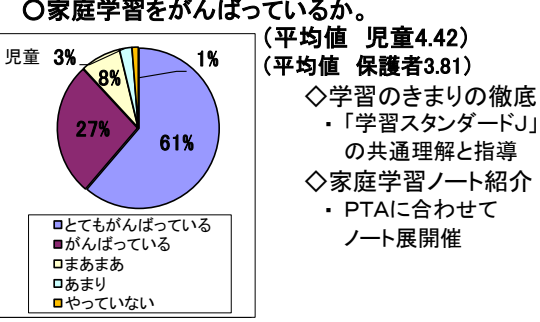
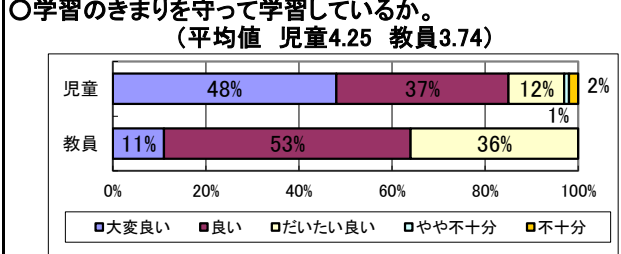
# ア 児童の状況

## IV 基礎学力

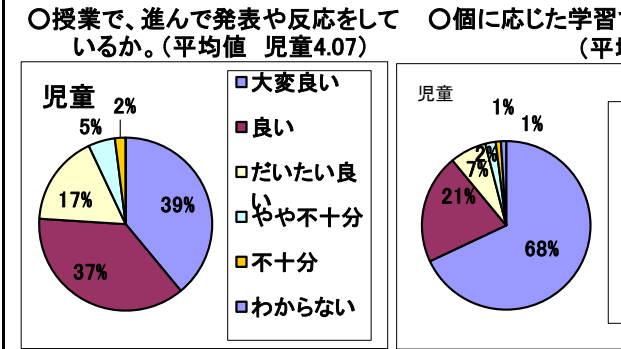
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
主体的に授業に臨み、基本的学習習慣や学び方を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	良好
	年度	良好	きわめて良好
と自己評価の価値の改善概要	【前期(→年度)】基本的学習習慣の定着のため、全校が共通した指導ができるよう、4月に「学習スタンダードJ」をもとにオリエンテーションを行った。重点月の4月と、変容をみる7月には相互評価の形でICTを活用して実態把握も行った。また、言語活動の充実を目指し、国語科と関連させながら朝の会にスピーチタイムを設定し、テーマや課題について職員間で情報交換しながら話す・聴く力の向上に努めている。今後は、子ども同士の授業参観なども含め、学級から学年・学団などにも場を広げ、反応言葉を活用して学び合いを高めていきたい。		
	【年度(→次年度)】学級→学年→学団と形を段階を踏んで繰り返しスピーチタイムを行い、話す・聴く力の向上に努めた。ICTは、国語科を中心に様々な場面で活用することで、教師も子どももスキルが向上してきた。学年によっては、必要場面を選んで使用する姿も出てきて、学びの広がりも見られるようになってきている。学習習慣の定着も含め全職員で継続的に指導していくとともに、実態からの課題と施策のねらいを明確にして次年度につなげたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
7 学習への取組	(10)基本的学習習慣の定着	学習のきまりの指導、家庭学習の奨励(全校ノート展の実施)	3	4
	(11)基礎・基本の確かな定着	実態把握に基づく分かる授業づくり、全校一斉テストの実施、TTの効果的な活用、放課後や長期休業中を利用した補充指導		
	(12)言語活動の充実	授業における学び合い、シンカタイムの充実、ICTスキルの向上と活用、スピーチタイムと反応言葉の活用、振り返りの充実		
	(13)読書活動の充実	読書・読み聞かせの推進、図書館経営、情報活用の充実		

### [7に関するデータ]



- 言語活動の充実を図っているか。(平均値 教員3.95)
- ・主に国語科を中心にした学び合い
  - ・学習内容や発達段階に応じた学習の工夫
  - ・スピーチタイムの実施やシンカタイムの話合い
- 読書習慣の定着 (平均値 児童4.40 教員3.95)



- 個に応じた学習の取組の例
- ・3～6年に算数の2C3Tを実施
  - ・放課後や長期休業中の個別指導
  - ・学習のまとめにおけるICTの活用

自分の考えを選んでロイロノートで送信

**イ**  
学校運営  
の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

**V 組織運営**

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
重点目標の具現化に向けて、教職員がチーム城南として連携し、組織的・主体的に取り組んでいる。	前期 おおむね良好	良好	校長のリーダーシップのもと、主任層を中心に、各教員へ経営方針が浸透している様子を授業や掲示物から感じた。ICT授業の公開も控えていると思うので何を優先するか、教員の多忙化防止の観点からも考えたい。
	年度 おおむね良好	良好	ICTの公開授業に向け、若手、ベテランが一丸となり取り組んでいる様子をうかがうことができた。ヒアリングの際に個々の取り組みではなくチームとして取り組んだという話があった。校長の明確な経営方針のもと、各教員が自覚をもって働いている。それが児童の様子にも表れていると感じた。
の自己改善評価の概要と学校の	<p>【前期(一年度)】経営方針や重点目標については、全校で共通理解を図り、実践してきている。城南っ子の基本3行動を確実に達成できるように、重点月と活動内容を一致させたり、活動内容を段階的にしたりと、各指導部が中心となって取り組んでいる。ふるさとキャリア教育では、子どもたちにどのような力がついているのか振り返る場面を意図的に設け、PDCAサイクルで指導改善をしていきたい。11月にはICT授業の公開を控えているため、校内研修でスキルアップを図ったり、国語科を中心としてICTを活用した授業づくりの実践を積み重ねたりしている。</p> <p>【年度(一次年度)】ICT推進校として、ICTを取り入れた日々の授業改善や教員の情報活用能力向上のための研修の成果が公開授業の成功につながり、高い評価として表れた。また、ふるさとキャリア教育作品に全学年で応募するなど、学校全体の取組として、新しい一歩を踏み出すことができています。来年度に向け、経営方針を受けた各指導部の具体的施策の重点を明確にし、子どもたちが互いに高め合える集団となるように確実に徹底して実施できるようにしていきたい。さらに、よりよい学校にするための活動に子どもたちも参画できるような手立ても講じていきたい。</p>		

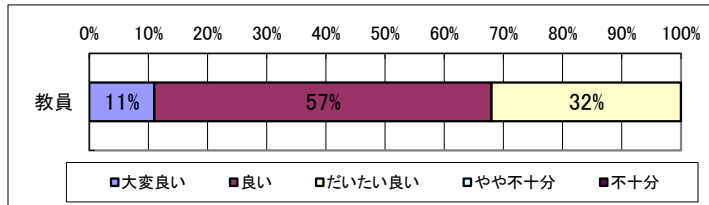
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 学校の明確な経営方針	(14)経営方針や重点目標、施策の明示 (15)城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践	職員会議、PTA総会等での周知、校報での明示 指導部による具体的な施策の提案、学年部による継続した実践	3	3
9 教育課程の編成と実施	(16)特色ある教育課程の編成と実施	付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進	3	3
10 職員研修	(17)授業改善と指導力の向上(2つのICTで)	国語の研究、諸研修への参加、校内研修や学年部での教材研究	3	4

**【8に関するデータ】**

○経営方針や重点目標、施策の明示(平均値 教員3.95)

教員 大変良い(11%) 良い(74%) だいたい良い(15%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践をしているか。(平均値 教員3.79)

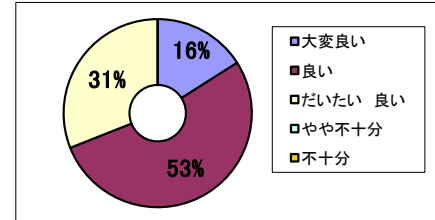


城南っ子基本3行動

- いつでも姿勢正しく、相手の話に反応します。
- どこでも安全に気を付け、命を守ります。
- だれにでも自分からよいあいさつをします。

**【9に関するデータ】**

○ふるさとキャリア教育の推進(平均値 教員3.84)

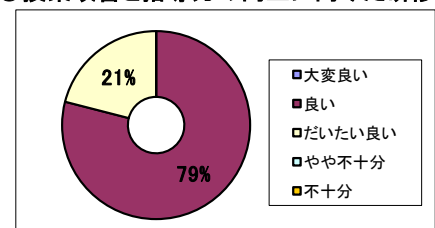


○今年度の活動例

- ・ 3年 わがまち大館調査隊:大館市の行事や伝統の調査
- ・ 4年 やさしい大館づくり隊:高齢者や障害者のための施設調査、講話や体験
- ・ 5年 プロジェクトJV:地域で働く方々の講話や職場体験
- ・ 6年 プロジェクトJファイナル:ふるさと大館を守り、支える”人”にスポットを当て、これからの未来大館についてCMで発信

**【10に関するデータ】**

○授業改善と指導力の向上に向けた研修(平均値 教員4.11)



○授業研究会の実施

- 6月:国語科提示授業(6年)
- 9月:国語科指定訪問(1年)
- 10月:算数科指定訪問(3年)
- 11月:体育科指定訪問(5年)



5年 ICTを活用した体育の授業

ICT公開授業研究会(1、3、5年)など他、校内研究会

# イ 学校運営の状況

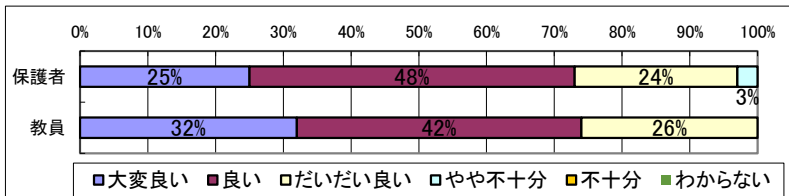
## VI 保護者・地域との連携

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みが分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	おおむね良好	地域や保護者との連携が制限される状況において、学年便りや学校報等により情報発信に努めていること、また、ブログの開設により保護者との距離も保っていることを評価したい。多くの業務がある中で可能な限り継続できることを期待する。
	年度	おおむね良好	良好
学校己の評価改善の概要と	【前期(→年度)】学年便り、学校報の発行などで、子ども達の学校での様子を伝えることに努めた。今年度は、ブログを開設し子ども達の情報が素早く保護者に伝わるように心がけた。回数を増やし保護者に満足してもらえるよう取り組んでいきたい。また、外部講師によるクラブ活動や職業体験、保護者による朝のあいさつ運動なども、コロナ禍の中でも今年度も順調に行われており、今後も感染対策を講じて実施の方法を検討し、子ども達の活動に生かせるように工夫していきたい。		
	【年度(→次年度)】学習発表会や授業参観などの学校行事については、昨年同様、3密回避の手段を講じての公開となったが、保護者の協力のおかげで無事実施することができた。学校報については、町内掲示板への張り出しから全戸配付に切り替えたり、配付枚数を増やしたりする町内もあり、地域の方々にも学校の様子を広く知ってもらうことができた。2年ぶりに行ったスキー教室では、たくさんの保護者の協力があり、少人数のグループ編成のもと安全に楽しく行事を実施することができた。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 情報の受発信	(18)積極的な情報発信	校報・学年通信の充実、メールやホームページによる情報発信	3	3
	(19)保護者・地域からの情報収集	PTA諸会合、地域訪問、学年懇談や個人面談、民生委員と語る会、学校評議員会、保護者アンケート		
12 地域の教育力の活用	(20)PTAとの連携	学校行事・諸活動等へのPTAの参画及び協力(一人一役・挨拶運動)	3	3
	(21)学校支援活動事業を通じた教育力の活用	地域学習の充実、保護者・外部講師による学習支援		

### [11に関するデータ]

○行事や子どもたちの学校での活動の様子を分かりやすく伝えているか。(平均値 保護者3.94 教員4.05)



- 学校ホームページ
- 学校報毎月更新
- ブログの更新 随時
- 学年だより 毎週発行
- 学校報 毎月24日頃発行
- ※各町内へ回覧用に配付
- 一部の町内では全戸配付

○授業や行事の公開、面談等の機会の設定はよくなされているか。(平均値 教員4.00)

- 教員 大変良い(21%) 良い(58%) だいたい良い(21%) やや不十分(0%) 不十分(0%)
- ・授業参観 4月16日、6月30日、12月8日、2月24日
  - ・祖父母参観 6月30日 ・6年生を送る会3月3日
  - ・個人面談 7月25日～28日(随時) ・6年いのちの授業 1月31日
  - ・運動会5月8日 ・学習発表会10月16日



12月授業参観

### [12に関するデータ]

○学校行事や諸活動に保護者の協力を得るよう、十分な働きかけをしているか。(平均値 保護者3.89 教員3.89)

- 保護者 大変良い(20%) 良い(51%) だいたい良い(28%) やや不十分(0%) 不十分(1%)
- 教員 大変良い(11%) 良い(68%) だいたい良い(21%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○家庭や地域の教育力を、学校の教育活動に積極的に活用しているか。(平均値 保護者4.06 教員4.05)

〈学校支援活動事業〉

- ・学習指導への補助 … 読み聞かせ(毎週木曜日 ※読み聞かせボランティア)
- 校外学習の引率補助、家庭科での指導補助



4年生以上のスキー教室

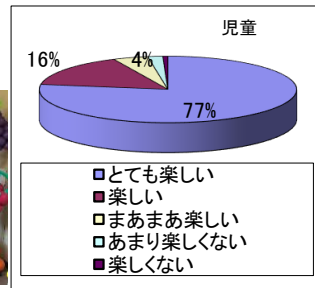


6年ふるさとCM撮影



バルーンアートクラブ

- ・正課クラブ活動の指導…英語、パソコン、お茶、ダンス、手話、バルーンアート
- ・PTA研修会…メディアについての講演会
- ・行事等への支援…あいさつ運動、交通安全指導、スキー教室



学校の外に出かけたり、地域の方と一緒に勉強や活動したりするのは楽しいですか(平均値 児童4.61)